

秋山正子さん講演会

住み慣れた地域で暮らし続けるために ～訪問看護と暮らしの保健室の取り組みから～

愛称は「市ヶ谷のマザーテレサ」

NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」、2014年9月NHKスペシャル「新宿“人情”保健室」でも取り上げられた訪問看護師第一人者。住民の健康や介護に関する相談に応じ、地域医療連携にも関与。

秋山正子先生 ご略歴



秋田県生まれ。

1973年聖路加看護大学卒業。関西にて臨床及び看護教育に従事。末期がんの実姉の看取りを経験した際に在宅ホスピスケアに出会い、1992年から東京都新宿区にて訪問看護を開始。

新宿区及び東久留米市にて訪問看護・居宅介護支援・訪問介護事業を展開。2011年、高齢化の進む巨大団地に「暮らしの保健室」を開設。

2015年、四谷坂町に看護小規模多機能型居宅介護事業所（複合型）として「ミモザの家」を開設。

がん患者と家族のための相談支援の場、マギーズセンターを東京にと、NPO活動を展開中。

■著書■

「家で死ぬこと、考えたことがありますか？」 2011年（保健同人社）
 「在宅ケアのはぐくむ力」 2012年（医学書院）
 「在宅ケアのつながる力」 2011年（医学書院）
 「在宅ケアの不思議な力」 2010年（医学書院） など

■受賞■

2009年（平成21年）11月 社会貢献支援財団「平成21年度 社会貢献者」表彰
 2012年（平成24年）4月 第8回ヘルシー・ソサエティ賞
 2012年（平成24年）11月 第6回「新しい医療のかたち」賞（医療の質・安全学会）

- 日時 6月12日（日）午後1時30分～3時30分（開場午後1時）
- 会場 新潟ユニソンプラザ 多目的ホール（新潟市中央区上所2-2-2）
- 申込み 5月19日（木）から6月3日（金）まで
新潟市役所コールセンター 025-243-4894
- 定員 200名

★保育ルームをご利用いただけます（無料）

対象者：生後6か月から小学校2年生までのお子さん

定員：20名

※コールセンターで申し込みの際「保育ルーム利用希望」とお伝えください。